

あとがき

4月になり今年も新学期を迎えました。医学部は相変わらずの難関ですが、7～8年前に比べると定員は約1,300人増加しています。1,300人のなかには地域枠の学生が多く含まれています。これは医師の偏在、地域医療の崩壊に対処するために設けられた制度で、地域が奨学金を出して授業料や生活費を支援する代わりに、卒業後は一定の期間、地域医療に従事することを課すものです。そろそろ卒業生が出てきますが、全員が総合診療医になるのか、眼科医や耳鼻科医にはなれないのか、専門医資格取得は遅れるのかなど、彼らのキャリア形成をどのようにしていくかが課題です。卒業と同時に奨学金を返済して都会に出て行ってしまっただけでは困ります。

眼科新専攻医数も気がかりです。昨年は眼科専攻医減少に歯止めをかけるため、眼科の現状を正確に伝え、眼科の魅力をアピールする眼科サマーキャンプを箱根で開催しました。日本眼科学会、日本眼科医会、眼科啓発会議の主催によるものです。すぐには効果が出ないかもしれませんが、じわじわと効果が発揮され、眼科医が増えることを期待しています。

さて、いよいよ国際眼科学会まで1年を切りました。前回は昭和53年に京都で開催され、私も眼科医になりたての頃でお手伝いをさせていただきました。開会式で皇太子殿下、美智子妃殿下がご臨席されたこと、ウェルカムパーティーで小雨のなか花火が上がったことなどを覚えています。当時は2面のスライド投影方式で、スライドのセットや輸送で事務方もにぎわっていました。葵祭や都をどり見物もありました。当時の参加人数は約4,400名でした。今回は会場を東京とし、参加人数は12,000人と予測しています。最近の海外の国際学会が市街地中心から少し離れた所にある大きな会場で、バス輸送で参加者を運んで開催されることが多いのに対し、今回は東京国際フォーラム、帝国ホテルといった都心のど真ん中です。学会、観光、食事などでの移動の利便性を生かし、混雑、狭隘という短所を補うユニークな学会になるよう準備が進んでいます。天気と桜に恵まれ記憶に残る学会になるよう全員で協力したいと思います。(根木 昭)

編集顧問	清水弘一	塚原 勇	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三
	西田輝夫	水流忠彦					
編集委員	根木 昭	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	下村嘉一	

臨床眼科 (第67巻 第4号)

2013年4月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 2,940 円 (本体 2,800 円 + 税 5%)

2013 年年間購読料
冊子版 42,080 円
冊子 + 電子版/個人 47,080 円 冊子 + 電子版/共有 53,400 円
電子版/個人 42,080 円 電子版/共有 48,400 円
増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY** < (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

担当 松井・鶴淵・安部